

## まえがき

はじめまして。

私は一般社団法人女性起業家支援FLAPの代表理事 友安雅彦と申します。

社名通り女性の起業支援のお仕事をしています。現在は公的機関や金融機関と共催による交流イベントに専門相談員、自ら女性向けのマインド起業塾（ギブ塾）の主宰と個人コンサルを中心とした事業です。私は30年あまりのサラリーマン生活を卒業し2015年に起業をしました。サラリーマン時代に女性スタッフのマネジメント経験があったことから、そのキャリアを生かしたい、そんな気持ちから女性活躍に携わる事業で起業をしたいと考えたのです。今思えば高校時代は商業高校だったこともあり生徒の8割が女子という、まるで女子高のような学校に通っていました。今の仕事は、すでに高校時代から決まっていたのかもしれないね。

ここ数年は特に女性の活躍があらゆる分野で目立ってきたように思えます。

そんな中で起業をする女性も年々増えてきました。そう「女性起業家」と呼ばれる女性たちです。男性が起業しても男性起業家と呼ばれることはないですが、女性起業家という言葉があるのは不思議ですよ。それだけ女性が起業することに社会が注目している証だと思えます。特に30代から50代までの女性が多く、働き方改革も後押しをしている要因のようです。就業という形ではなく自分の好きなこと、得意なことを仕事とし、子育てに家事もしながら無理なく仕事をするワークライフスタイルです。こうした働き方の女性が増えてきているのです。職種も多様で美容、ファッション、子育て教育、カウンセラー、セラピスト講師業などさまざまで女性特有の職種が多く、顧客としての対象も女性も女性が主体です。

中には男性顔負けの収入を得ている女性もたくさんいらっしゃいます。

当初、女性の起業を支援する。と言っても実際は何をすればビジネスとして確立するのかわからないままのスタートで、不安ばかりが先行し、焦る気持ちが大きく膨らんでいくのを抑えながら過ごしました。

そんなとき、女性活躍ということを改めて考えていたところ、たくさんのお気づきがあったのです。

デパートの地下から屋上まで商品やサービスはほとんど女性向けです。男性の商品やサービスはワンフロア（紳士服やゴルフウェア）にあるぐらいでしょうか。

デパートの経営は女性の消費で成り立っているんです。またホテルのレストランを平日にランチ利用したときには、店内は満席状態で男性客は自分を含めて3人だけ、平日のお昼に女性がホテルのレストランでランチするのは当然のような光景を目の当たりにしビックリでした。エステなど自分磨きに投資するのも男性と比較すると女性のほうが断然多いです。このように女性が収入を得ることは消費にも繋がりが地域社会の活性化に繋がるもの。と自分の中で確信したのです。

起業してからは、サラリーマン時代には経験できなかったような出来事や、考えることがなかったような新しい価値観を女性から学び、日々気づかされています。

本書は女性起業家の方はもちろん、これから起業を考えている女性にも読んでいただけ

ら嬉しく思います。あつ、それと男性にも。なぜなら男性には考えつかないようなアイデアや感性など、女性の持っている素晴らしさを理解することが、これからの社会にとって不可欠だからです。現実のところ、まだまだ世の中は男性社会でもあり女性が起業し働くことは厳しい社会です。テレワークが進む中で多種多様で柔軟な働き方として女性の起業という選択は、今後の社会にも大きな役割があります。

私は、この女性起業家の支援という仕事で成長させていただきました。これからも生涯やり続けるつもりです。

本書では女性の起業という視点から見た、女性活躍という社会とライフスタイル、これら起業を考える女性の後押しのカツカケとなれどと思います。起業という選択肢により、イキイキとした素敵な女性がたくさん増えることが、これからの未来社会への発展に繋がることを願って。

それでは一緒に女性の起業について扉を開きましょう。